

平塚市ごみ通信

回覧

発行 平塚市 環境部 環境政策課(平塚市浅間町9-1)
TEL:0463-23-1111(代表)内線:2330
(平塚市のホームページではカラー版を掲載しています)



第 34 号
令和3年12月1日発行

令和2年度の平塚市のごみ処理状況がまとまりました

平塚市のごみの総排出量と年間処理経費



総排出量:棒グラフ・左目盛り

処理経費:折線グラフ・右目盛り

80,181 tの内訳

ごみの種類	量 (t)
可燃ごみ	56,171
不燃ごみ	3,061
資源再生物	16,709
粗大ごみ	273
有害ごみ	58
直接搬入ごみ※	3,909
合計	80,181

※処理施設に直接持ち込まれたごみ

市民1人あたりにすると?

市民一人あたりのごみの排出量と年間処理経費



1日に市民一人あたりが出した
ごみの量は・・・



853g

1年間に市民一人あたりに要したご
みの処理経費は・・・



10,143円

皆様の分別の徹底や
水切り等のご協力に
より、ごみの量、処理
経費は概ね減少傾向
となっています。引き
続き、ごみ減量化への
取り組みにご協力を
お願いします。



平塚市ごみ減
量化・資源化
キャラクター
「クルクル」

※処理経費は臨時的経費を除く処理及び維持管理費の合計です。令和2年度は、臨時に支出したポリ塩化ビフェニル (PCB) 廃棄物処分のための約2億円を除いています。

※上記ごみ排出量及び処理経費は速報値のため変更されることがあります。



適正なごみの分別に
ご協力をお願いします！

INFORMATION

在宅医療廃棄物の出し方

平塚市リサイクルプラザでは、排出されたプラクル(容器包装プラスチック)について、手選別により異物を取り除き、効率的な資源化に努めておりますが、注射針などが混入しているケースが散見され、作業員が受傷する事故も発生しています。

ご自宅で使用された、点滴バッグ・針なしチューブ(カテーテル、吸引チューブ)などの在宅医療廃棄物は、プラマークの表示(🗑️)がある場合でも「可燃ごみ」にお出しください。

注射針などの鋭利なもの(インスリン注射器、針付きチューブなど)の廃棄は「処方された医療機関」にご相談ください。



バッグ・カテーテル・チューブ類は

プラマークの表示がある

場合でも**可燃ごみ**



鋭利なもの(注射針等)は

医療機関に相談

火災事故防止のために

平塚市では、中身が残ったスプレー缶、カセットボンベ、使い捨てライターやリチウムイオン電池をはじめとした充電式電池が原因とみられるごみ収集車などの火災が近年多発しています。令和3年8月には、不燃ごみ収集車で火災が発生しました。

ごみ収集車の火災は、車両の損害や収集時間の遅延だけでなく、周囲の皆様や収集作業員の命にかかわる重大な事故につながる可能性がありますので、引き続き分別をお願いします。

リチウムイオンなどの充電式電池は、市役所や家電量販店などの回収協力店に設置してあるリサイクルボックスに投入してください。



乾電池、※1ライター、コイン型電池(形式記号CRまたはBR)、※2水銀使用の体温計などは集積所の乾電池ボックスに投入してください。



※1 使い切ったもの ※2 透明な袋に入れて出す

年末年始の粗大ごみ持ち込み予約について

土日祝日に加えて12月27日(月)、28日(火)、1月4日(火)、5日(水)に持ち込む場合は事前予約が必要です。12月29日(水)から1月3日(月)までは休業です。

インターネット予約

予約方法、予約状況はこちらから

電話予約

電話番号:0463-22-4557

受付時間:9時~12時、13時~17時、平日のみ

※予約の受付期間はいずれも2週間前の平日から持ち込む日の前の平日まで

粗大ごみ破碎処理場 平塚市堤町3番5号



無許可業者等の廃品回収業者とのトラブルに注意

家庭で不用になったごみ(廃棄物)の回収は、平塚市または平塚市から許可を受けた特定の収集運搬業者以外、法律で禁止されています。無許可の業者に依頼した場合、高額な料金を請求されるトラブルに巻き込まれたり、回収を依頼したごみが不法投棄されるなどの原因に繋がる可能性があります。業者が次の許可を持っていても安易に依頼しないようにしましょう。

「産業廃棄物処理業許可」は工場や企業の廃棄物の処理をするための許可です。

「古物商許可」は中古品等の売買を行うための許可です。